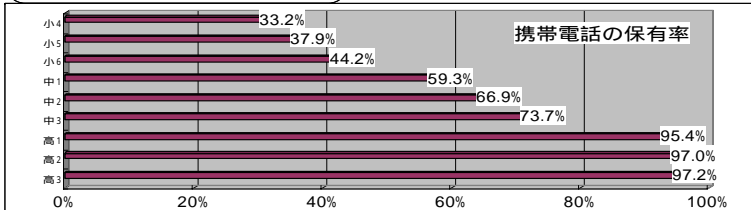
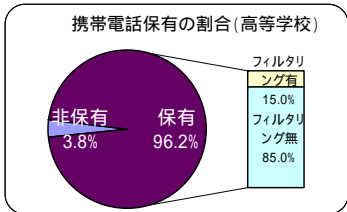
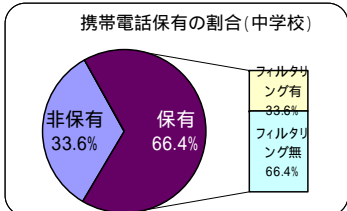
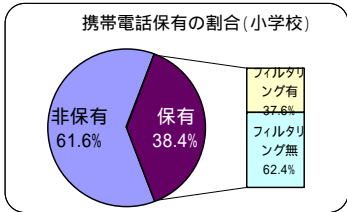


# ネット・携帯電話に係るトラブル等に関する対応について

子供のインターネット・携帯電話利用についての調査より  
H20.7調査

- 1 調査方法 質問紙法による
- 2 実施期間 平成20年7月4日～7月11日
- 3 調査対象 都内公立学校42校（抽出）  
 児童・生徒：11,032名  
 （小：5,050名 中：4,258名 高校：1,512名 特支：212名）  
 保護者：7,300名  
 （小：3,701名 中：2,839名 高校：538名 特支：222名）  
 教員：800名  
 （小：337名 中：214名 高校：136名 特支：113名）

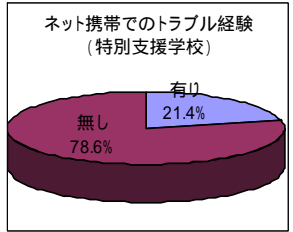
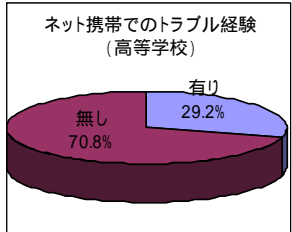
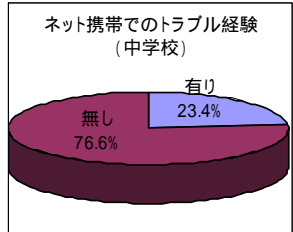
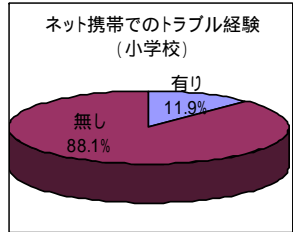


子供一日の携帯電話利用状況

		通話 (分)	メール (回)	サイト (分)
小	男	11.0	5.0	5.5
	女	13.0	7.3	6.0
	計	12.1	6.3	5.8
中	男	8.2	18.3	22.7
	女	8.3	23.6	44.8
	計	8.3	21.3	35.0
高	男	9.2	17.0	46.9
	女	11.4	22.7	78.1
	計	10.3	20.0	63.3
特	男	4.4	8.0	15.6
	女	9.8	12.2	16.7
	計	6.5	9.7	16.0

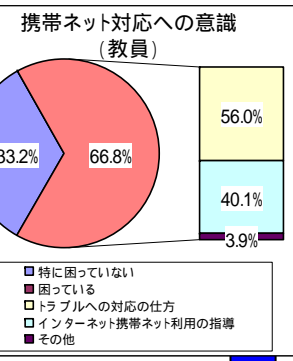
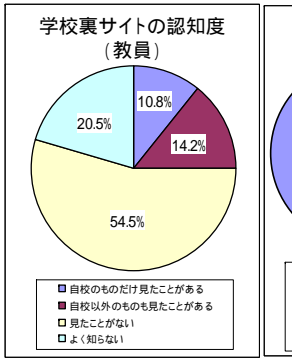
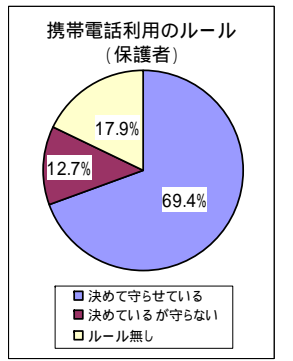
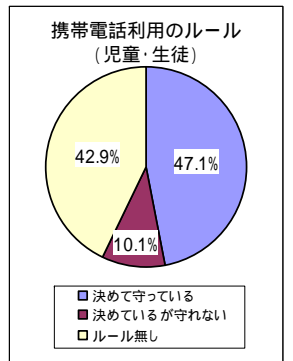
子供の携帯電話の保有率は高いがフィルタリング付加の率は低く、全体で三割程度である。中学校高等学校では、通話よりも、メールや携帯サイトの利用がはるかに多い。また、進学時の中一、高一で保有率が急激に増加する。

メール、ネットの利用者では、およそ小学生の10人に1人、中学生の4人に1人、高校生の10人に3人、特別支援学校児童・生徒の5人に1人が、ネット・携帯でのトラブルを経験している。また、トラブル内容は多種多様である。（別紙1 参照）



保護者と子供の認識には、乖離がある。  
 ・保護者は、子供がルールを守って使っていると思っけていても…  
 ・ネットトラブルの発生について、保護者は十分な認識ができていない。（別紙2 参照）

教員は対応に苦慮  
 ・子供のネット・携帯にかかるトラブル等について十分把握できていない。  
 ・課題意識はもっているが、トラブルの対応に困っている。（別紙2 参照）



## 教育委員会としての今後の新たな取組

「子供のインターネット・携帯電話利用についての実態調査」報告による意識啓発  
 「携帯電話利用についてのアピール」の発出  
 「子供の携帯電話等の利用に係る取組 - ネット被害から子供を守るために - 」の配布  
 「アピール」及び上記資料に基づく、公立学校全校での授業実施  
 学校裏サイトの監視や内容把握など、具体的に被害やトラブルを防ぐ対策を検討

トラブルの種類と件数

	メールで悪口・個人攻撃を受けた	チェーンメールを流された	誹謗・中傷・画像が掲載された	プロフィールサイトに	学校裏サイトに、中教員や学校への誹謗・中傷があった	アダルトサイトからわいせつ画像等が送られてきた	出会い系サイトで被害に遇った・会いそうになった	個人情報(メールアドレス)を悪用された	有害サイト(自殺誘因・犯罪誘因等)での影響があった	アルバイト紹介サイトで被害に遭った・会いそうになった	ゲームサイトで被害に遭った・会いそうになった	コミュニティサイトで被害に遭った・会いそうになった	アクセスしただけで請求書が送られてくるなどがあった	粗悪品、商品未納、架空請求があった	ショッピングサイトで	その他
小学校	72	154	17	15	17	13	14	9	9	55	7	7	17	17	161	
中学校	171	614	91	27	75	74	66	19	16	44	38	42	20	135		
高等学校	95	227	97	35	53	62	66	16	19	27	42	38	24	64		
特別支援学校	8	12	2	1	4	2	1	1	1	0	2	1	2	4		
合計	346	1007	207	78	149	151	147	45	45	126	89	88	63	364		

調査で記述があったトラブル・被害の例

**出会い系サイト**  
おもしろ半分で、出会い系サイトに会員登録したら、「金額を振り込まないと、規約に基づき法的手段を行う」という脅しのメールが届いた。(高校生)

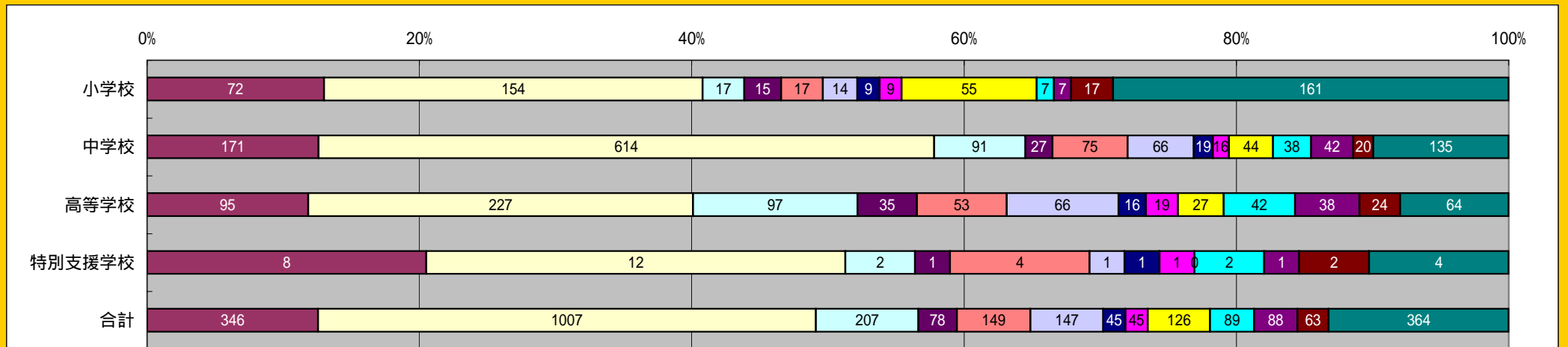
**個人情報**  
自分は絶対教えていないのに、あまり普段つきあっていない人からメールが来た。だれが教えたのか、まだわからないのはいや。(小学生)

**有害サイト(自殺誘因・犯罪誘因等)**  
「自殺したい」とか書いている人がたくさんいるサイトがあった。読んでいるうちに気持ち悪くなった。(中学生)

**アルバイト紹介サイト**  
「おこづかいが欲しいのならよいアルバイトを紹介する」とメールが来て、風俗店を紹介された。(中学生)

**ゲームサイト**  
「7が揃えば100万」というネットゲームで遊び、画面のアドレスを送信する指示に従って操作したら、出会い系のサイトに転送され仮登録されてしまった。(中学生)

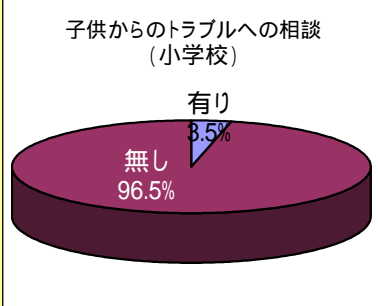
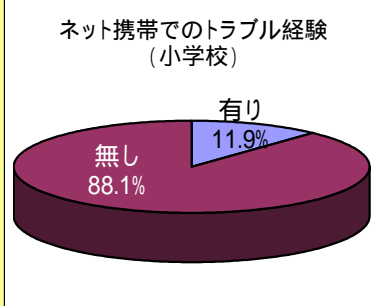
**コミュニティサイト**  
掲示板でやりとりして仲良くなったが、強引に会う場所と時間を指定され、しつこくメールされた。(高校生)



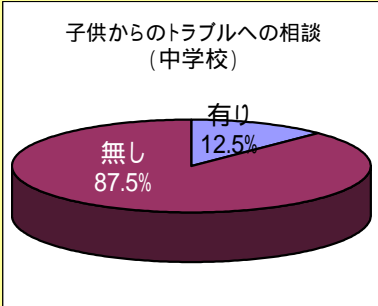
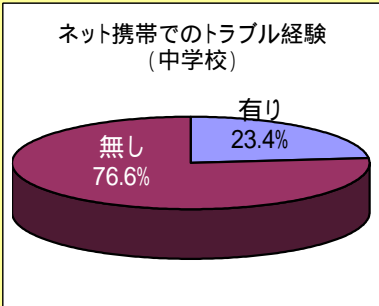
保護者と子供の認識の乖離

(児童・生徒)

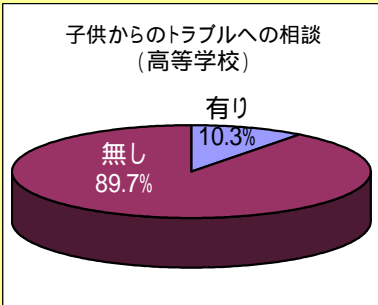
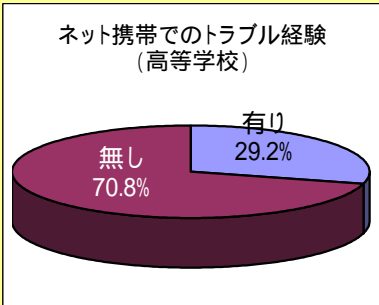
(保護者)



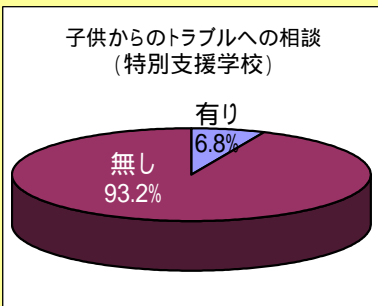
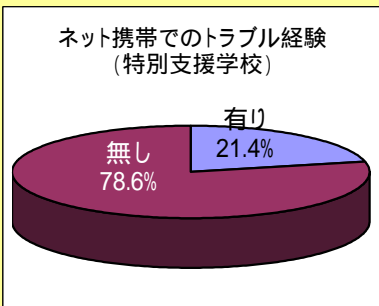
認識の差  
8.4



認識の差  
10.9

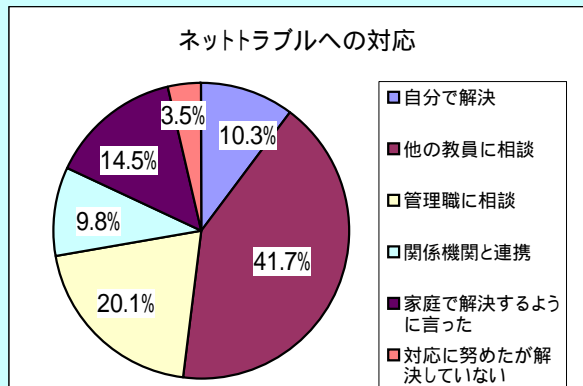
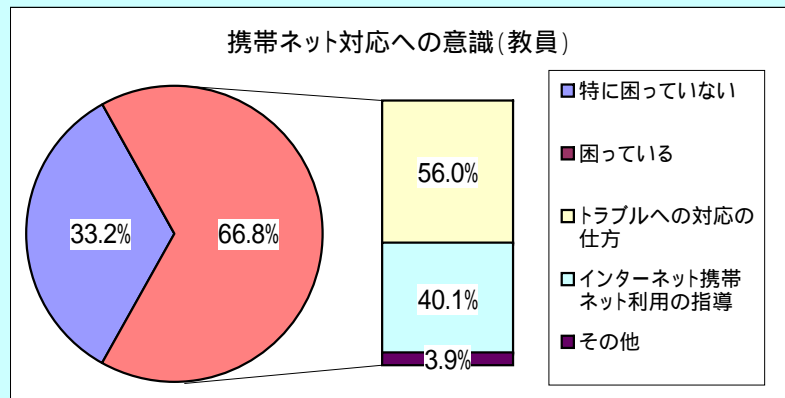
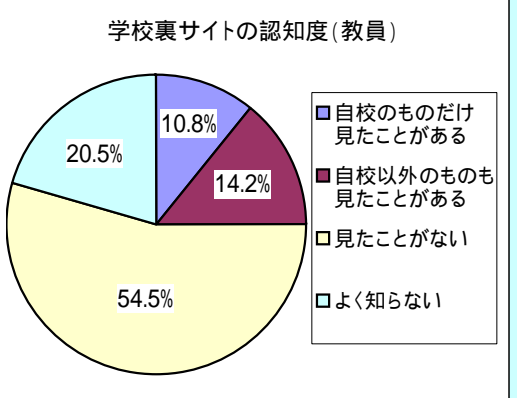
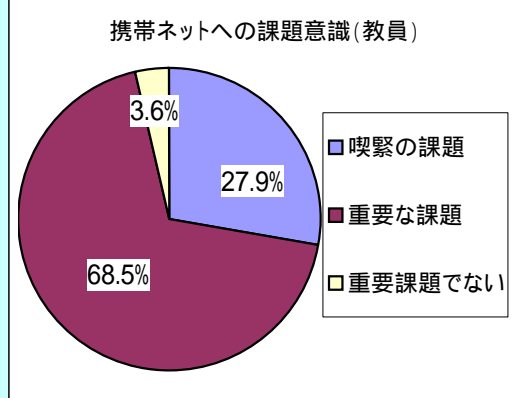


認識の差  
18.9



認識の差  
14.6

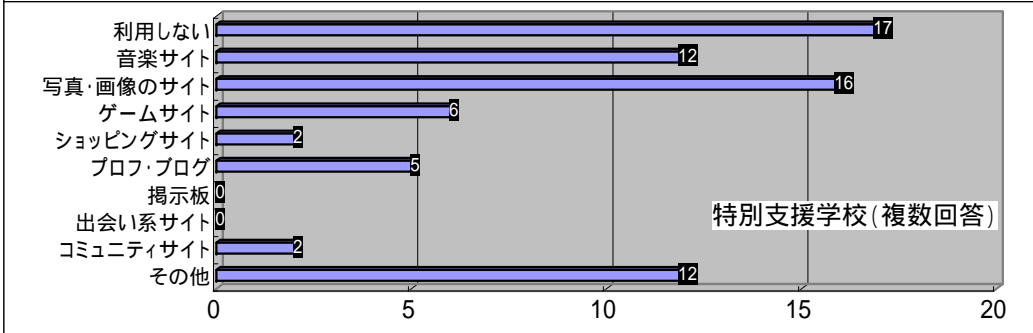
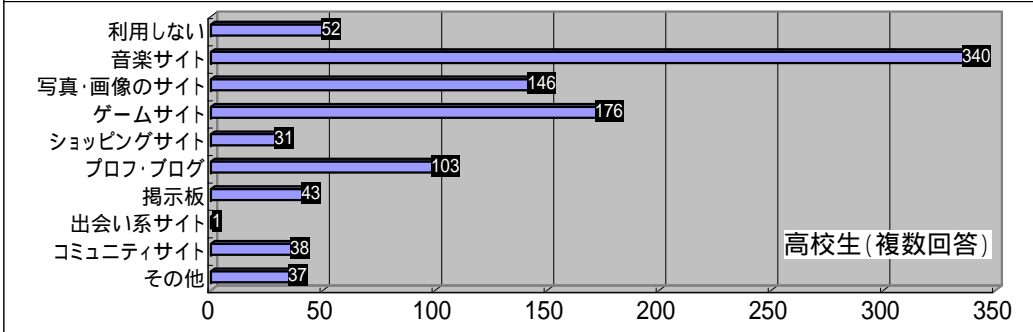
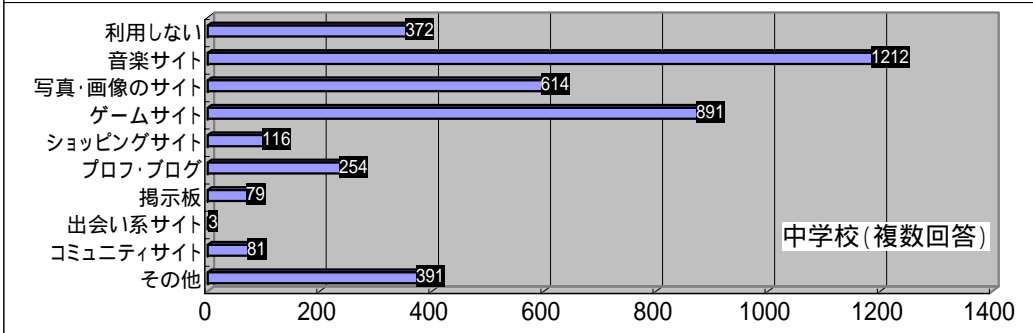
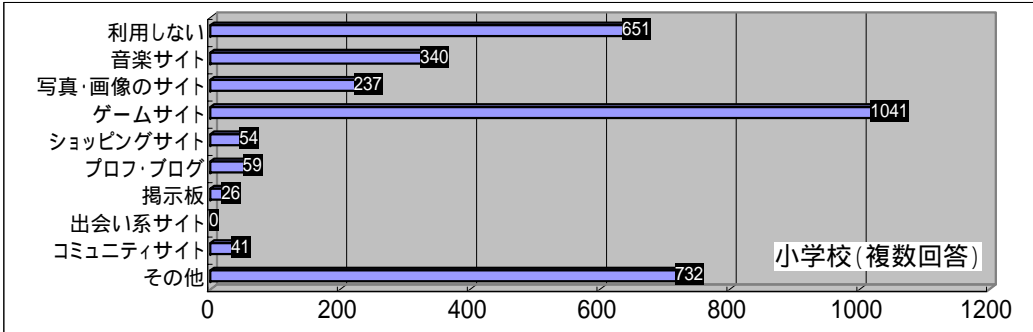
教員の課題意識と対応



96.4%の教員が、携帯ネットへの対応を、重要な課題と考えている。  
 学校裏サイトに関しては、「見たことがない」「よく分からない」と回答した教員は、合わせて75%あり、実態を把握しているとは言えない。  
 教員の3分の2は、ネット携帯のトラブル対応に困っている。  
 ネットトラブルへの対応は、管理職や他の教員に相談している教員が60%を超えている。

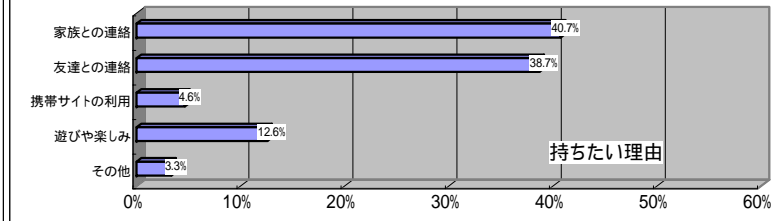
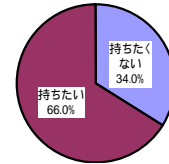
【別紙3】 参考

子供がよく使っているサイト

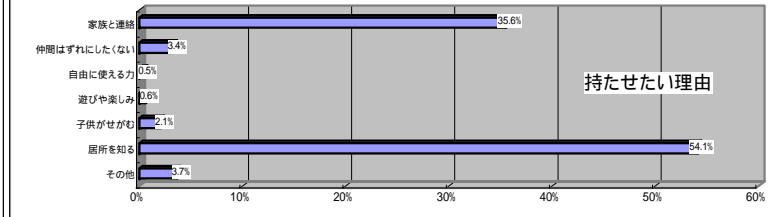
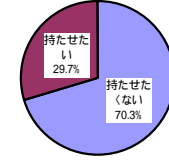


携帯電話を持っていない子供、持たせていない保護者について

今後の携帯電話の保有(児童・生徒)



今後の携帯電話の保有(保護者)



携帯電話の利用について決めているルール(保護者)

